

FUJITSU Workstation CELSIUS

CELSIUS W5010

BIOS セットアップメニュー一覧

Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Core、Intel vPro、Xeon は、アメリカ合衆国
および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

BIOSセットアップメニュー詳細

BIOSセットアップのメニューについて説明しています。
BIOSセットアップのメニューは次のとおりです。

メニュー	説明
メイン (→P.2)	BIOSやワークステーション本体についての情報が表示されます。また、日時や言語を設定します。
詳細 (→P.3)	CPUや内蔵デバイス、周辺機器などを設定します。
セキュリティ (→P.7)	パスワードなどのセキュリティ機能を設定します。
電源管理 (→P.9)	停電復旧時の動作や、Wakeup on LAN機能などを設定します。
イベントログ (→P.11)	イベントログに関する設定を行います。
起動 (→P.11)	起動時の動作について設定します。
終了 (→P.12)	設定値の保存や読み込み、BIOSセットアップの終了などを行います。

重要

- ▶ BIOSセットアップの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

POINT

- ▶ ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動すると、設定変更のできる項目が制限されます。制限された項目はグレーに表示されます。
ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動した場合に変更できる項目は次のとおりです。

メニュー	設定項目
メイン	言語 (Language)
	システム日付
	システム時刻
詳細	「シリアルポートコンソールリダイレクション設定」配下の全項目
セキュリティ	ユーザー用パスワード設定
起動	起動時のNumLock設定
	起動時のロゴ表示
終了	変更を保存して終了する（再起動）
	変更を保存せずに終了する（再起動）
	変更を保存して終了する（電源OFF）

メインメニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
BIOS情報	
BIOSベンダー	
カスタマイズ	
コア版数	
コンプライアンス	
システム情報	
システムボードおよびファームウェア	
BIOS版数	
BIOS日付	
Board	
型名	
製造番号	
カスタムメイド番号	
UUID	
LANデバイス	
LAN1 MAC Address	
CPU詳細	
CPU名	
メモリ詳細	
メモリ容量／周波数	
DIMM CHB3	
DIMM CHB1	
DIMM CHA4	
DIMM CHA2	
Open Source Software License Information	
システム日付 01/01/2000～12/31/2099	<ul style="list-style-type: none"> ・【Tab】キー／【Enter】キー…右の項目に移動 ・数字キーで入力 ・OSが自動的に変更する場合あり

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
システム時刻 00:00:00～23:59:59	・【Tab】キー／【Enter】キー…右の項目に移動 ・数字キーで入力
言語(Language) □English ■日本語	
アクセスレベル	BIOSセットアップを管理者用パスワードで起動した場合は「管理者」、ユーザー用パスワードで起動した場合は「ユーザー」と表示される
キーボードレイアウト □English(US) □Spanish □French □Brazilian □Dutch □German □Italian □Swedish □Danish □Finnish □Norwegian □Russian ■日本語 □Korean □Chinese	BIOSパスワードを設定している場合は設定不可
ポインティングデバイスサポート □使用しない ■使用する	

詳細メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
オンボードデバイス設定	
内蔵LANデバイス ■使用する □使用しない	
オーディオコントローラー ■使用する □使用しない	
PCI Subsystem設定	
4GB以上のアドレス空間への デコード ■使用する □使用しない	
CPU設定	
HTテクノロジー □使用しない ■使用する	対応CPU搭載時に設定可能
アクティブコア Xeon-W1270／Core i7の場合 ■全て □1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 Xeon-W1250／Core i5の場合 ■全て □1 □2 □3 □4 □5 Core i3の場合 ■全て □1 □2 □3	
Intel Virtualization Technology □使用しない ■使用する	
VT-d □使用しない ■使用する	
TXT設定 □使用しない □使用する	<ul style="list-style-type: none"> ご購入時は、Secured-core PC対応モデルは「使用する」、Secured-core PC非対応モデルは「使用しない」に設定 対応CPU搭載時に設定可能 下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> 「Intel Virtualization Technology」が「使用する」 「VT-d」が「使用する」 「セキュリティチップ」が「使用する」

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
SW Guard Extensions (SGX) □使用しない □使用する ■ソフトウェア制御	
Enhanced SpeedStep □使用しない ■使用する	※注1
Turbo Mode □使用しない ■使用する	・対応CPU搭載時に設定可能 ・下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「Enhanced SpeedStep」が「使用する」 ※注1
C States □使用しない ■使用する	※注1
Package C State limit □C0 □C2 □C3 □C6 □C7 □C7S □C8 □C9 □C10 □CPU Default ■自動	※注1
ランタイムエラー記録設定	
ECCメモリエラー記録 □使用する ■訂正不可能なエラーのみ □使用しない	※注1
ドライブ設定	
NVMeデバイス設定	搭載されているNVMeデバイスを表示
オンボードSATA設定	
SATAモード ■AHCI Mode □Intel RST	※注1
SATA Port 1	
Port 1 □使用しない ■使用する	
SATA Port 2	
Port 2 □使用しない ■使用する	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
SATA Port 3 Port 3 □使用しない ■使用する	
SATA Port 4 Port 4 □使用しない ■使用する	
SATA Port 5 Port 5 □使用しない ■使用する	
SATA Port 6 Port 6 □使用しない ■使用する	
SMART設定 SMART診断 ■使用しない □使用する	
TPM (セキュリティチップ) 設定 セキュリティチップ □使用しない ■使用する	
TPM状態の変更内容 ■変更しない □クリアする	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「セキュリティチップ」が「使用する」 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「セキュリティチップの設定を変更する」を参照
現在のTPMの状態	
USB設定 USB設定	接続されているUSBデバイスを表示
マスストレージデバイス	
USBストレージドライブのタイプ ■自動 □Floppy □Forced FDD □Hard Disk □CD-ROM	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
USBポートセキュリティ	
USBポート設定	
■全て有効	
□前面と内部のみ有効	
□背面と内部のみ有効	
□内部のみ有効	
System Management	
FAN制御	
□Enhanced ■自動 □Full	※注1
温度	
CPU	温度センサー (CPU) の現在の状態
Ambient	温度センサー (Ambient) の現在の状態
Core	温度センサー (Core) の現在の状態
Graphics	温度センサー (Graphics) の現在の状態
SSD2	温度センサー (SSD2) の現在の状態
PCH	温度センサー (PCH) の現在の状態
CPU2	
FAN	
CPU	CPU ファンの現在の状態
SYS2	SYS2 ファンの現在の状態
SYS1	SYS1 ファンの現在の状態

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
シリアル/パラレルポート設定	
シリアルポート1設定	
シリアルポート	
□使用しない ■使用する	
デバイス設定	下記の項目が次のように設定されているときに表示 ♦「シリアルポート」が「使用する」
I/Oアドレスと割り込み	
■自動	
□IO=3F8h; IRQ4;	
□IO=3F8h; IRQ3,4,5,6,7,9,	
10,11,12;	
□IO=2F8h; IRQ3,4,5,6,7,9,	
10,11,12;	
□IO=3E8h; IRQ3,4,5,6,7,9,	
10,11,12;	
□IO=2E8h; IRQ3,4,5,6,7,9,	
10,11,12;	
パラレルポート設定	
パラレルポート	
□使用しない ■使用する	
デバイス設定	下記の項目が次のように設定されているときに表示 ♦「パラレルポート」が「使用する」
モード	
■STD Printer Mode	
□SPP Mode	
□EPP-1.9 and SPP Mode	
□EPP-1.7 and SPP Mode	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
シリアルポートコンソール リダイレクション設定	
COM0 コンソールリダイレクション ■使用しない □使用する	COM0に対するコンソールリダイレクションに関する設定
コンソールリダイレクション設定	
COM0コンソールリダイレクション設定	
Terminal Type □VT100 □VT100+ □VT-UTF8 ■ANSI	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Bits per second □9600 □19200 □38400 □57600 ■115200	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Data Bits □7 ■8	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Parity ■None □Even □Odd □Mark □Space	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Stop Bits ■1 □2	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Flow Control ■None □Hardware RTS/CTS	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「コンソールリダイレクション」が「使用する」
VT-UTF8 Combo Key Support □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Recorder Mode ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Resolution 100x31 ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Putty KeyPad ■VT100 □LINUX □XTERM6 □SCO □ESCN □VT400	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「コンソールリダイレクション」が「使用する」
COM1 (Pci Bus0,Dev0,Func0) Console Redirection □使用しない ■使用する	・ インテルvPro/AMTに対するコンソールリダイレクションに関する設定 ・ SOL (Serial Over LAN) セッションの有効時に設定可能

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
AMT設定	
ME版数	
Intel(R) AMT BIOS Extension ■使用しない □使用する	
AMT USB プロビジョニング ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「Intel(R) AMT BIOS Extension」が「使用する」
AMT/ME設定のクリア ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「Intel(R) AMT BIOS Extension」が「使用する」
Intel(R) MEセットアップ ■Normal □Enter MEBx Setup	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「Intel(R) AMT BIOS Extension」が「使用する」
ネットワークスタック	
ネットワークスタック □使用しない ■使用する	
IPV4環境での起動 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「ネットワークスタック」が「使用する」
IPV6環境での起動 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「ネットワークスタック」が「使用する」
内蔵ビデオ設定	
プライマリディスプレイ ■自動 □内蔵ビデオ □PCI Express for Graphics (PEG) □PCI Express	グラフィックスカード搭載時に設定可能
内蔵ビデオ ■自動 □使用しない □使用する	グラフィックスカード搭載時に設定可能
内蔵ビデオメモリサイズ □32MB ■64MB	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「内蔵ビデオ」が「自動」または「使用する」 ※注1
DVMTメモリサイズ □128MB ■256MB □MAX	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「内蔵ビデオ」が「自動」または「使用する」 ※注1
Intel(R) Ethernet Connection (11) I219-LM	オンボードLANデバイスのオプションROMに関するサブメニュー ※注1

注1： 本設定は初期値のまま変更せずに使いください。

セキュリティメニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
ユーザー用パスワード文字数 4	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー用パスワードの設定可能文字数（3～32）を設定 管理者用パスワード設定時に設定可能
管理者用パスワード設定	⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ユーザー用パスワード設定	⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
起動時のパスワード入力 □毎回 □最初のみ ■使用しない	<ul style="list-style-type: none"> 管理者用パスワード設定時に設定可能 毎回 … 本ワークステーションの起動時ごとに、パスワード入力を要求 最初のみ … 本ワークステーションの電源を入れたときにのみ、パスワード入力を要求 使用しない … 本ワークステーションの起動時に、パスワード入力の要求なし <p>⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照</p>
自動ウェイクアップ時の パスワードスキップ ■使用しない □使用する	<ul style="list-style-type: none"> 管理者用パスワード設定時に設定可能 使用しない … 自動ウェイクアップ時の起動時に、パスワード入力を要求 使用する … 自動ウェイクアップ時の起動時に、パスワード入力の要求なし ハードディスクパスワードの入力スキップは不可
取外し可能なディスクからの起動制限 □使用する ■使用しない	<ul style="list-style-type: none"> 管理者用パスワード設定時に設定可能 使用しない … すべてのユーザーが取外し可能なディスクから起動可能 使用する … 管理者だけが取外し可能なディスクから起動可能
システムファームウェア更新機能 □使用しない □使用する（制限付き） ■使用する	
デバイスファームウェア更新機能 □使用する（制限付き） ■使用する	
システムファームウェアロールバック ■使用しない □使用する	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
所有者情報	
所有者情報	設定状況を表示
所有者情報設定	
起動時のHDDパスワード入力 ■使用する □使用しない	<ul style="list-style-type: none"> ハードディスクパスワード設定時に設定可能 使用する … 本ワークステーション起動時に、ハードディスクパスワード入力を要求 使用しない … 本ワークステーション起動時に、ハードディスクパスワード入力の要求なし 再起動時は、本設定に関係なくパスワード入力の要求なし（M.2 フラッシュメモリディスク（NVMe）を除く） <p>⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照</p>
〔ハードディスクドライブ名〕	<p>ハードディスクセキュリティに対応したハードディスク搭載時に表示</p> <p>⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照</p>
ハードディスクセキュリティ設定	
Security Supported	設定状況を表示
Security Enabled	設定状況を表示
Security Locked	設定状況を表示
Security Frozen	設定状況を表示
ユーザーパスワードの状態	設定状況を表示
マスターパスワードの状態	設定状況を表示
ユーザーパスワード設定	電源投入直後にBIOSセットアップを起動した場合に設定可能。再起動後は表示されない。

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
セキュアブート設定	
署名情報の保護	<ul style="list-style-type: none"> ・設定状態を表示 ・「無効 (セットアップモード)」または「有効 (ユーザー モード)」と表示される
セキュアブート	<ul style="list-style-type: none"> ・設定状態を表示 ・「セキュアブート機能」が「使用する」時は「使用する」、「使用しない」時は「使用しない」と表示される
Vendor Keys	セキュアブート機能が「使用する」時の設定状態を表示
セキュアブート機能 □使用しない ■使用する	本設定を変更して再起動すると、「起動デバイスの優先順位」が変更される（必要に応じて起動順位を設定し直し） ※注1
署名情報設定 ■標準 □カスタム	
署名情報の管理	
署名情報の初期化 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」
署名情報の初期化	下記の項目が次のように設定されているときに表示／設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」 ・「署名情報の初期化」が「使用する」
キーの保存	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」
Device Guard Ready	
Remove 'UEFI CA' from DB	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」
Restore DB defaults	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
Secure Boot variable	
Platform Key(PK)	
Details	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」
Save To File	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」
Delete key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」
Key Exchange Key	
Details	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」
Save To File	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」
Delete Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」
Authorized Signatures	
Details	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」
Save To File	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」
Delete Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
Forbidden Signatures	
Details	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Save To File	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Delete Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Authorized TimeStamps	
Details	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Save To File	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Delete Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
OSRecovery Signatures	
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」

注1: Windows 10のモード (UEFI/レガシー) は、次の手順で確認できます。

- 1 Windowsを起動します。
- 2 タスクバーの「検索」ボックスに、「msinfo32」と入力して【Enter】キーを押します。
「システム情報」が表示され、「BIOSモード」の項目に「UEFI」または「レガシー」が表示されています。

電源管理メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
電源管理設定	
AC通電再開時の動作 ■使用しない □電源OFF □電源ON □自動	<ul style="list-style-type: none"> 設定変更は再起動後に有効 電源 OFF… 通電再開時に一瞬電源が入り、WoLなどを初期化。その後電源OFF。 自動… 電源断発生時の状態による。 起動中、スリープは「電源ON」 シャットダウン、休止状態は「電源OFF」 <p>※注1</p>
電源オフ時の電源供給 ■電源OFF □電源ON	設定変更は再起動後に有効
USB Type-Cポートへの給電 ■最大3A/15W □最大1.5A/7.5W □最大900mA/4.5W □給電しない	設定変更は再起動後に有効
ウェイクアップ設定	
PC-ディスプレイ電源運動機能 □使用しない □電源ONのみ ■使用する	設定変更は再起動後に有効
LAN ■使用しない □使用する	<p>設定変更は再起動後に有効</p> <p>※注2</p> <p>※注3</p> <p>※注4 ⇒『製品ガイド (共通編)』の「2章 BIOS」—「Wakeup on LANを有効にする」を参照</p>
LANによるウェイクアップ後の起動 ■起動順位に従う □ネットワークから起動する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「LAN」が「使用する」
キーボード ■使用しない □使用する □専用キーのみ	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「電源オフ時の電源供給」が「電源ON」

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
時刻 ■使用しない □使用する	設定変更は再起動後に有効 ※注2 ※注3 ※注5
時 0～23	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」
分 0～59	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」
秒 0～59	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」
モード □毎週 ■毎日 □毎月	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」
日曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
月曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
火曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
水曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
木曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
金曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
土曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
日 1～31	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎月」

注1：UPSなどを使って通電再開時に電源を投入させたい場合は、「電源ON」に設定してください。
ただし、「電源ON」設定時に、本ワークステーションの電源切断状態からAC入力に瞬断が発生すると、本ワークステーションの電源が投入されることがあります。

注2：Windowsの高速スタートアップを無効にしてください。

注3：「AC通電再開時の動作」を「使用しない」に設定した場合、停電などのAC電源切断が発生すると、次に本ワークステーションの電源を入れるまで本機能は使用できなくなります。

注4：省電力状態（スリープ状態）からレジューム（復帰）させることはできません。デバイスマネージャーでの設定が必要です。

注5：省電力状態（スリープ状態）からレジューム（復帰）させることはできません。タスクスケジューラまたはタスクでの設定が必要です。

イベントログメニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
イベントログ設定	
イベントログ設定	
イベントログ □使用しない ■使用する	
イベントログ消去設定	
イベントログの消去 ■いいえ □次回起動時に消去します □毎回起動時に消去します	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「イベントログ」が「使用する」 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「イベントログを消去する」を参照
イベントログフル ■何もしない □すぐに消去する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「イベントログ」が「使用する」
イベントログの表示	⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「イベントログを確認する」を参照

起動メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
起動設定	
起動時の NumLock 設定 ■On □Off	Windows ログオン後は前回終了時の状態になる
起動時のロゴ表示 □使用しない ■使用する	
起動デバイス順位の初期化 ■いいえ □はい	
起動エラー時の動作 □起動を続ける ■キー押下まで待つ	※注1
キーボードエラー検出 □使用しない ■使用する	
UEFI起動デバイス追加時の優先順位 □標準 □最上位 ■最下位	
起動メニュー □使用しない ■使用する	
起動デバイスの優先順位	OS を読み込むデバイスの優先順位を設定 ※注2 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「起動デバイスを変更する」を参照
Boot Option #n	n は起動の順位を示す ・カスタムメイドオプションおよびお使いの状況により、起動順位は異なる ・UEFI: [CD/DVD ドライブ名] は、UEFI 起動可能なディスクをセットしている場合に表示 ・UEFI アプリケーションが、優先順位を変更することがある

注1：本設定を「起動を続ける」に設定しても、エラーメッセージは表示され、イベントログにも記録されます。

注2：ネットワークサーバーから起動するためには、「Wired for Management Baseline Version 2.0」に準拠したインストレーションサーバーシステムが必要となります。

終了メニュー

項目を選んで【Enter】キーを押すと、確認画面が表示されます。

設定項目	備考
変更を保存して終了する（再起動）	
変更を保存せずに終了する（再起動）	
変更を保存して終了する（電源OFF）	
標準設定値を読み込む	次の項目は対象外 · 言語 (Language) · システム日付 · システム時刻 · キーボードレイアウト · 管理者用パスワード · ユーザー用パスワード · ハードディスクパスワード · 起動時のパスワード入力 · セキュアブート機能 · 所有者情報 · 起動デバイスの優先順位 ⇨『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「ご購入時の設定に戻す」を参照
強制起動	
起動デバイス名	